

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	建築史	
科目基礎情報					
開設学科	建築設計科	コース名		開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義		
教科書/教材	コンパクト版 建築史 日本・西洋 彰国社				
担当教員情報					
担当教員	堀岡勝、中條志保		実務経験の有無・職種	有・建築設計	
学習目的					
建築はそれぞれの時代や地域における文化や社会のあり方を示しており、その発展・変容・多様化の歴史的背景と変遷の流れを理解することは、建築に対する多面的な見方を養うことに繋がる。建築史では、西洋建築および日本建築の工法や文化の歴史を学ぶことで、建築の未来を考える際に必要な、先端的な建築と歴史的な建築の双方を見通すことのできる視点の基礎を身につけることを学習の目的とする。					
到達目標					
建築史では、次の3点を到達目標とする。 ①西洋建築の建築様式を習得する。 ②日本建築の建築様式を習得する。 ③全体を通じ、建築と人の成り立ちの根源から現在に至るまでの流れと、地域・宗教・文化・民族・生活などと建築の関係を理解する。					
教育方法等					
授業概要	この授業は、建築の歴史や様式を系統的に学び、美意識の変遷、デザインと社会的な動向、建築技術との関係を理解する。原則として教科書に沿って講義を進め、ポイントを理解するためVTRなどを有効的に使用する。				
注意点	授業には集中して取り組み、授業ノートを必ずとること。出席は自己管理して出席不足にならないようにすること。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。日本工学院 授業心得（学生用）を守ること。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	80%	試験を総合的に評価する		
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	オリエンテーション		建築史の授業概要について理解する。		
2回	西洋建築①		古代オリエント・エジプト・古代ギリシャの建築様式について理解する。		
3回	西洋建築②		古代ローマ・初期中世の建築様式について理解する。		
4回	西洋建築③		ロマネスク建築・ゴシック建築の建築様式について理解する。		
5回	西洋建築④		ルネサンス建築の建築様式について理解する。		
6回	西洋建築⑤		バロック建築の建築様式について理解する。		
7回	西洋建築⑥		18・19世紀の建築の建築様式について理解する。		
8回	西洋建築⑦		20世紀の建築の建築様式について理解する。		
9回	日本建築①		縄文～平安（寺院・神社）の建築様式について理解する。		
10回	日本建築②		飛鳥～平安（宮殿・住宅）の建築様式について理解する。		
11回	日本建築③		中世 鎌倉～室町の建築様式について理解する。		
12回	日本建築④		近世 桃山～江戸の建築様式について理解する。		
13回	日本建築⑤		近代～現代の建築様式について理解する。		
14回	住宅史		誕生から現代までの建築様式について理解する。		
15回	総まとめ		全体のまとめ、期末試験対策について理解する。		